

## 平成 29 年度八戸市復興計画推進市民委員会意見への対応状況 (平成 30 年 4 月末現在)

### 2. 地域経済の再興及び共通事項

市では平成 29 年度に八戸市復興計画推進市民委員会を 4 回開催し、委員の皆様から御意見をいただきました。

本資料は、「2. 地域経済の再興」及び「全体事項」への御意見に対する平成 30 年 4 月末現在の市の対応状況についてとりまとめたものです。

なお、対応状況は、下記区分のとおりです。

#### 【対応状況の区分】

- ＝意見を踏まえ対応に努めている
- △＝意見を参考に検討段階
- ×＝意見への対応が難しい

#### 復興計画全体に関する総括意見

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
1		<p>「地域経済の再興」については、水産物の養殖や輸出拡大、畜産関連産業の更なる発展や食の八戸ブランドのマーケティング強化に向けて取り組むとともに、八戸三社大祭や八戸えんぶりなどへの継続的な支援、各種コンベンションを始めとした MICE*の誘致を促進すること。</p> <p>* MICE … Meeting: 企業会議・研修、Incentive Travel: 報奨旅行、Convention: 国際会議、Exhibition/Event: 展示会やイベントの頭文字をとった造語で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称。</p>	<p>【水産事務所】</p> <p>【農林畜産課】</p> <p>【農業経営振興センター】</p> <p>【観光課】</p>
	各対応状況 のとおり	<p>◎水産物の養殖や輸出拡大に向けた取組の推進について 【水産事務所】 意見No.8・9・10 で回答</p> <p>◎畜産関連産業の更なる発展に向けた取組の推進について 【農林畜産課】 意見No.11 で回答</p> <p>◎食の八戸ブランドのマーケティング強化に向けた取組の推進について 【農業経営振興センター】 意見No.13 で回答 【水産事務所】 意見No.13 で回答</p> <p>◎八戸三社大祭や八戸えんぶりなどへの継続的な支援について 【観光課】 意見No.18 で回答</p> <p>◎各種コンベンションを始めとした MICE の誘致の促進について 【観光課】 意見No.15・16 で回答</p>	

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
2		復興計画に基づく各分野の取組が順調に進む中で、当市の人口減少や少子高齢化、労働力確保等の中長期的課題の解決に向け、類似都市との政策比較やビッグデータ等の活用を検討するとともに、各施策を横断的に整理し、必要な対策を講じていただきたい。	【政策推進課】
	○	<p>◎類似都市との政策比較やビッグデータ等の活用の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当市では、既存の市保有データの活用や連携に加え、いわゆる「ビッグデータ」の活用が、効果的な事業展開を図る上で有効と考えており、その一つとして、国が提供する地域経済分析システム(RESAS)の活用に向けた取組を行っています。</li> </ul> <p>◎各施策を横断的に整理し、必要な対策の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興計画を八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略や第6次八戸市総合計画と連動させながら、地域課題の解決に向けた施策に一体的に取り組んでいます。</li> </ul>	
3		各組織が保有する個別データの統合や一元管理に向けた取組を推進することで行政の効率化・省力化を図り、多様化する市民ニーズに柔軟に対応しながら、行政サービスの質の向上に努め、市民が震災からの創造的復興を真に実感できるまちづくりが進展することを期待する。	【政策推進課】
	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市が保有する観光、雇用、福祉等の関連データを一元管理し活用することは、業務効率化等のみならず、客観的データに基づく効果的な施策立案に有効なことから、先行自治体の例を参考に検討してまいります。</li> </ul>	

## 復興計画に掲げた4つの基本方向ごとの意見

### 2 「地域経済の再興」に関する意見

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
4		水産業の再興については、漁獲量が減少傾向にあることから、県内の水産研究機関等と連携し、養殖事業の可能性について検討を進めるとともに、水産物の輸出拡大を図るため、ハサップ対応型荷捌き所の稼働率の向上や、全国に先駆けてEUハサップの基準をクリアした生産地である優位性のPRに取り組む必要がある。	【水産事務所】
	各対応状況 のとおり	<p>◎養殖事業の可能性の水産研究機関等と連携した検討について 意見No.8で回答</p> <p>◎ハサップ対応型荷捌き所の稼働率の向上について 意見No.9で回答</p> <p>◎全国に先駆けてEUハサップの基準をクリアした当市の優位性のPRについて 意見No.10で回答</p>	

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
5	農林畜産業の再興については、畜産関連産業の更なる発展につなげるため、付加価値の高い製品づくりに取り組むとともに、年間を通じた食の八戸ブランドのマーケティングを強化するため、関係団体が一堂に会してイベントの調整や内外へのPRについて協議する必要がある。		【農林畜産課】 【農業経営振興センター】 【水産事務所】
	○	◎畜産関連産業の更なる発展につなげるための付加価値の高い製品づくりについて 【農林畜産課】 意見No.11 で回答  ◎食の八戸ブランドのマーケティング強化のための関係団体による協議の実施について 【農業経営振興センター】 意見No.13 で回答 【水産事務所】 意見No.13 で回答	
6	観光・サービス業の再興については、当市への経済波及効果が期待できる各種コンベンションを始めとしたMICEの誘致を促進するため、助成制度等の支援策の充実を図るとともに、県とも連携した継続的な取組を検討する必要がある。		【観光課】
	○	◎MICEの誘致促進に向けた助成制度等の支援策の充実について 意見No.15 で回答  ◎MICEの誘致促進のための県とも連携した継続的な取組の検討について 意見No.16 で回答	
7	八戸三社大祭や八戸えんぶりなどの祭り・伝統文化を後世に継承するため、後継者育成や山車製作場所確保等の諸課題の解決に向けて、継続的な支援を検討する必要がある。		【観光課】
	○	◎八戸三社大祭や八戸えんぶりなどの諸課題の解決に向けた継続的な支援の検討について 【観光課】 意見No.18 で回答	

## 個別の施策・事業に対する意見

### 2 「地域経済の再興」

#### (1) 水産業の再興

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
8		青森県の海域特性に合った魚の調査研究、生産技術開発等に取り組んでいる県内の水産研究機関等と連携し、養殖事業の可能性について検討を進める必要がある。	【水産事務所】
	△	・養殖や蓄養の可能性について、八戸海域での環境的課題や飼育方法、法的課題等洗い出しについて県や水総研、水産関係団体を交えて検討しております。	
9		水産物の輸出拡大を図るため、ハサップ対応型荷捌き所の稼働率向上に向けた取組を強化する必要がある。	【水産事務所】
	○	・平成 29 年 3 月に策定した改善計画に基づき、主に利用漁船の誘致、ブランド化の推進による認知度向上を図る予定です。【対応事業名：A 棟稼働率向上対策事業】	
10		2020 年の東京オリンピック開催を控えて食品事業者へのハサップ導入義務化に向けた法改正が進められていることを踏まえ、全国に先駆けて EU ハサップの基準をクリアした生産地として、その優位性を国内外へ強力に PR をする必要がある。	【水産事務所】
	○	・水産加工業者に A 棟で水揚げされたサバを原料とした加工品を製造してもらい、シーフードショーや青森県フェア等への出展により、PR 活動を実施する予定です。(平成 30 年 8 月実施予定)【対応事業名：A 棟稼働率向上対策事業】	

#### (2) 農林畜産業の再興

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
11		畜産関連産業の更なる発展につなげるため、飼料供給から製品化に至るまでの一連の生産体制の連携を図り、付加価値の高い製品づくりに取り組む必要がある。	【農林畜産課】
	○	・畜産関連産業の振興を図るため策定された「八戸地域畜産関連産業振興ビジョン」の具現化により取り組んでいます。	
12		木質ペレットの利活用を含めた再生可能エネルギーの利用促進に向けた市民向けの支援制度を検討する必要がある。	【環境政策課】
	△	・木質ペレットストーブ導入支援制度を平成 25 年度から実施しましたが、申請件数が伸び悩み、平成 28 年度で終了したところです。 ・再生可能エネルギー設備等の支援制度については、今後策定を予定している市の地球温暖化対策計画において、各家庭の事情に応じて設備を選択できる複数メニューでの支援制度を検討してまいります。 ・なお、再生可能エネルギーの利用促進に向けた市民への情報提供や啓発活動は随時、進めてまいります。	

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
13		年間を通じた食の八戸ブランドのマーケティングを強化するため、関連業界や団体と行政が一堂に会してイベントの調整や内外へのPRについて協議する必要がある。	【農業経営振興センター】  【水産事務所】
	○	<p>【農業経営振興センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農産物については、八戸菓子商工業組合、八戸ワインフェスティバル実行委員会等の代表者で構成される「八戸市農産物ブランド戦略会議」において、八戸市産農産物の販売戦略の検証並びに情報発信手法の検討を実施しています。(平成 24年度から実施)【対応事業名:農業新ブランド育成事業】</li> </ul> <p>【水産事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水産物に関しては、品質、数量などで八戸が優位性・独自性を有するイカ・サバのブランド化に取り組んできていますが、イカについては「イカの街はちのへ連絡協議会」を開催、サバについては「八戸前沖さばブランド推進協議会」に参画し、関連団体、業界の方々とブランド化・PR方法等について協議するとともに、各種イベントの開催、支援を行い、イカ・サバの情報発信に取り組んでおります。</li> </ul> <p>【対応事業名:水産物流通加工振興事業】</p>	
14		農業者が抱えている様々な問題について、第三者を含め、地域が一体となって分析・検討を行いながら問題解決をサポートする体制を強化し、就農者への総合的な支援体制の充実を図る必要がある。	【農業経営振興センター】
	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域農業の将来展望に立って地域全体で取り組んでいくことが求められる担い手の育成のため、関係団体と連携して認定農業者への誘導や集落営農組織の設立支援を推進する八戸地域担い手育成総合支援協議会の活動へ補助金を交付しています。【対応事業名:担い手総合支援事業】</li> </ul>	

#### (4) 観光・サービス業の再興

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
15		コンベンションを始めとした MICE の誘致は、当市の認知度向上やイメージアップといった PR 効果に加え、個人旅行での再訪の呼び水としての効果も期待されることから、積極的な誘致活動と併せて、助成制度等の支援策の充実を図る必要がある。	【観光課】
	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>(公社)八戸観光コンベンション協会が実施するコンベンション誘致・開催支援事業費の一部助成を継続して実施します。</li> <li>また、当該事業における小規模コンベンション開催助成事業など、助成制度の積極的な周知を図ります。</li> <li>支援策の充実については、他都市事例も研究しながら、検討を行います。</li> </ul>	
16		地域への高い経済効果が期待される MICE の誘致に向けては、全県的な視点からの検討も必要と思われることから、県とも連携して継続的に取り組む必要がある。	【観光課】
	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森県をはじめ県内自治体や観光コンベンション協会等を構成員とするコンベンション誘致促進連絡会議(事務局:(公社)青森県観光連盟)に参加しており、今後も構成員と情報共有を図りながら、当市への各種コンベンション誘致に努めていきます。</li> </ul>	

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
17	訪日外国人旅行者の受入体制の充実を図るため、公共スペースにおける Wi-Fi 環境の整備の方策を検討するとともに、スマートフォン・タブレット端末への SNS 等を活用した情報発信の強化を図る必要がある。		【観光課】
	○	<p>◎公共スペースにおける Wi-Fi 環境の整備の方策の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人旅行者が訪れそうな公共施設については、東北観光復興対策交付金を活用し、平成 28 年度に Wi-Fi 環境を整備しました。</li> <li>・今後は、外国人旅行者の動向を注視しながら、新たな公共スペースへの Wi-Fi 環境整備の必要性等を検討していきます。</li> </ul>	
	△	<p>◎スマートフォン・タブレット端末への SNS 等を活用した情報発信の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、八戸市単独の外国語の SNS 公式アカウントは所有しておらず、SNS を活用した海外への情報発信は行っていませんが、青森県が海外向けの SNS アカウントを所有しているため、協力し情報発信を行えるよう検討していきます。</li> </ul>	
18	当市の主要な観光資源である八戸三社大祭や八戸えんぶりなどの祭り・伝統文化を後世に継承するため、これらが抱える後継者育成や山車製作場所確保等の諸課題の解決に向けて、地域や関係団体と連携しながら継続的な支援を検討する必要がある。		【観光課】
	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧柏崎小学校跡地を山車製作場所として活用する方針を決定し、地元町内会や祭り関係者への説明を進めています。</li> <li>・ふるさと寄附金の使途に「八戸三社大祭支援のため」を新たに創設しました。(平成 29 年度寄附金額:840,000 円)</li> <li>・八戸三社大祭運営委員会企画推進部会において、三社大祭の諸問題について協議を行っています。</li> <li>・八戸観光コンベンション協会への補助金を通じて山車組や祭りの運営費の支援を行っています。</li> </ul> <p>【対応事業名:旧柏崎小学校跡地広場整備事業 八戸観光コンベンション協会補助金事業】</p>	